

三二五〇番

あきづ島しま 大和の国やまとくには 神かむからと 言こと挙げせぬ国くに
然しかれども 我あれは言こと挙げす 天地あめつちの 神かみもはなはだ
我あが思おもふ 心こころ知らずや 行ゆく影かげの 月つきも経へ行ゆけ
ば 玉たまかぎる 日ひも重かさなりて 思おもへかも 胸むね安やすか
らぬ 恋こふれかも 心こころの痛いたき 末すゑつひに 君きみに
逢あはずは 我わが命いのちの 生いけらむ極きはみ 恋こひつつも
我あれは渡わたらむ まそ鏡かがみ 正目まさめに君きみを 相見あひみてばこ
そ 我あが恋こひ止やまめ